

# 指文字

指文字は50音の一つひとつを指の形で表したものです。50音のほか濁音「゛」や半濁音「゜」なども表現できます。手話単語のないものや表現することが難しい場合は、指文字でコミュニケーションをとりましょう！

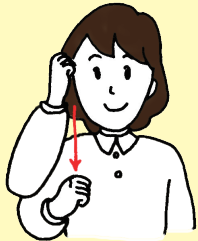
例えば、キンタロウを指文字で表すと…



## 手話であいさつしてみよう！

> おはよう

朝



右手のこぶしを枕に見立てて頭から枕をはずすように下ろします。

> こんにちは

昼



2本の指を長針と短針に見立てて12時を表します。

> よろしくお願ひします

良い



握った手を鼻にあてて、少し前に出します。

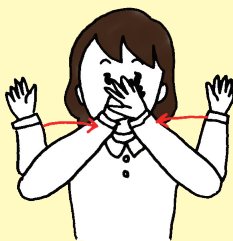
お願ひします



手を開き、頼むようにして少し前に出します。

> こんばんは

夜



手のひらを前に向けて、両手を顔の横に置き、顔の前で交差させます。

あいさつ



両手の人さし指で、お互いがお辞儀をするようにします。

「あいさつ」ってコミュニケーションをとる上で、とっても大切です！覚えておくといいよね！

> ありがとう

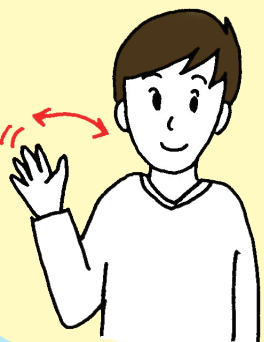


左手のひらを下に向け、右手の小指側を左手の甲にのせ、お辞儀をしながら右手を上げます。



## 普段、何気なく使っているジェスチャー

> さようなら



> わかりました

OK



手話は、動作と表情を上手に使い表現することが大切です。悲しい時は悲しい表情を、うれしい時はニコニコしながら表現しましょう。相手に伝えようとする気持ちが大切なのです。ジェスチャーで伝わることもありますので、「手話はむずかしそう…」と思わないで、表情豊かに会話をどんどん広げていきましょう。

## 話しかけてみよう！

> どうしましたか？

何



人さし指を立てて、左右に2回位振ります。たずねる表情で…

> 大丈夫



そろえた右手の指先を左胸から右胸に移動します。

うなずきながら表すと「大丈夫ですよ！」また、首をかき上げてたずねるように表すと「大丈夫ですか」という意味になります。

> ですか



片方の手のひらを上に向けながら、顔の横から前に差し出します。

> しましょうか

> 何か、お手伝いしましょうか？

何



「何」の手話をします。

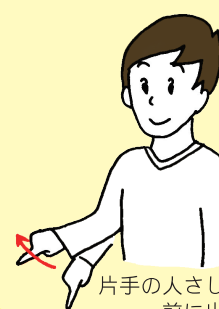
手伝う



片手の親指だけ伸ばし、もう片方の手のひらで2回、相手を助けるように押します。

> どこに行きたいですか？

行く



片手の人さし指を下に向け、前に出します。

場所



5指を軽く曲げ、身体の前に置きます。

何



「何」の手話をします。



「何」の手話はいろいろな場面で使えそうだね！

